



第10回「伝統と先端と」開催！ ～フランスにて伝統工芸品などの展示販売を実施～

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 所長補佐 竹内 祐貴 (福井市派遣)

企画展「『伝統と先端と』 ～日本の地方の底力～」について

クレアパリ事務所では、日本の地方に根付いた伝統産業技術が、現代の生活にモダンに取り入れられている事例や先端産業に活用されている事例などを展示販売する企画展「『伝統と先端と』～日本の地方の底力～」を2013年度から開催し、日本の地方の伝統文化をパリをはじめフランス国内で発信しています。

第10回という節目の年となった今年度は、これまでに引き続き「衣食住」をテーマとして展示販売会を実施しました。また、例年開催しているパリ会場に加えて、地方展を2か所で実施することとし、南仏の主要都市モンペリエと、美食の街として知られるリヨン（「食」関係のみ）でも開催するほか、特設サイトを開設してWEB展も併せて実施しました。

2022年度の開催状況

パリ展は、2022年11月2日から19日の約3週間にわたり、パリ日本文化会館の地上階にて開催されました。来場者は展示品の細部まで時間をかけてしっかりと鑑賞しており、素材や職人の技術などについて販売員に質問する光景が多く見られました。昨年度の開催時に強く実感したこととして、フランス人は自分が価値を見出したものについては購入の意欲が高まるということがあります。そこで、今年度からの新たな取り組みとして、販売員による説明に加え、各出展自治体から提供された出展品の製作過程などを紹介する動画を会場のモニターで常時放映することとしました。そうしたところ、今年度は、じっくりと動画を見たり、映像にあった出展品を自分の目で確認する来場者が多くいらっしゃいました。動画による製作過程などを見てもらうことで、出展品の

価値や用いられている伝統技術の素晴らしさを来場者により深く理解してもらうことができたのではないかと思います。



第10回「伝統と先端と」パリ展の様子

また、パリ展では、親子で参加できる体験型ワークショップも開催しました。木のストローづくり、型染めトートバッグづくり、風呂敷の琉球びんがた染め、組子コースターづくりの各講座には、多数の参加がありました。ワークショップでは、前半に産地や技術の説明をし、後半に実際に作業を行う構成のものが多く、参加者は熱心に話を聞き、質問を交えながら真剣に製作していたのが印象的でした。ワークショップ終了後、同じ技術を用



組子コースターづくりのワークショップの様子

いた出展品や同じ出展自治体の展示品を見たり購入したりする方も多く、伝統技術の背景や価値、さらには産地の魅力を伝えるという点においても、実際に手を動かす体験型ワークショップは効果が高いと感じました。

南仏のモンペリエでは、11月25日から12月2日にわたり、モンペリエ市国際交流会館にて展示販売を行いました。モンペリエ展は、フランス南部のオクシタニー州や在フランス日本国大使館の協力の下、初めて開催された「オクシタニー日本週間」の一環として開かれました。モンペリエ展でもパリ展同様、じっくりと出展品を鑑賞し、様々な質問をした後、展示品を購入する方が多くいらっしゃいました。モンペリエでは普段、日本の伝統工芸品に関する展示イベントなどの機会は少ないようで、日本各地からの出展品のみならず、今回出展している18自治体の紹介パネルも熱心に見る来場者の姿が見られました。フランスにおいて日本の伝統や文化を発信するうえで、パリだけではなく、地方都市において展示会を開催することに大きな意義があると感じました。

また、11月になるとフランス国内ではクリスマスプレゼントを選ぶ人が多くなるため、同月に開催されたパリ展、モンペリエ展においては、クリスマスプレゼントとして購入される方が多く見受けられ、結果的に販売増につながったと思います。当地の慣習を考慮した開催時期の選定も、販売の側面からは重要なファクターであると感じました。



第10回「伝統と先端と」モンペリエ展の様子

リヨンでは、2023年2月22日から3月5日にかけて、リヨン国際美食館にて、「衣食住」のうち「食」に絞って展示販売を行います。これは、同じリヨン国際美食館で開催される和食PRイベント内のプログラムの一つとして実施するものです。

WEB展では、各出展自治体や代表的な出展品を、美しい写真を用いて紹介し、自治体や出展品の魅力をPRしています。実際の展示会場へ足を運んでいただけるよう、パリ展開始日の11月2日から、リヨン展終了日の3月5日まで開催しております。

2022年度の企画展開催状況

パリ展	2022年11月2日～11月19日
モンペリエ展	2022年11月25日～12月2日
リヨン展	2023年2月22日～3月5日
WEB展	2022年11月2日～2023年3月5日

企画展開催の意義

当企画展は、都道府県または市町村単位で参加することができ、各自治体の中で事業活動を行っている伝統産業関連事業者にとって海外販路開拓の足がかりとしていただけです。一般に、海外見本市などに出展する場合は、輸送費以外に展示スペース購入費用、ブース装飾費用、説明員の確保、パンフレット、パネル作成などの費用が必要となります。しかし、当企画展では、これらの費用の多くをクリアパリ事務所に負担するため、自治体または参加事業者は、基本的に日本・パリ間の輸送費（保険料含む）や関税・付加価値税などの費用負担のみで、展示・販売を実施することができます（追加でイベントなどを行う場合は別途費用負担あり）。

また、出展品に対するお客様の反応および実際の販売結果などのフィードバックも行いますので、今後の海外販路開拓などの取り組みに活かしていただくことができます。自治体の単独事業と異なり、複数の自治体が事業に参加されることから、より多様で幅広いフィードバックを得ることができることも当企画展の特長です。

当企画展を通して強く感じることは、継続することの重要性です。パリ文化会館での開催も10回目となって認知度も上がり、リピーターとして来られる来場者の方も着実に増えてきています。また、当企画展により日本をより身近に感じてもらうことができれば、日仏自治体間の交流促進につながる重要なきっかけになると思います。

クリアパリ事務所は、来年度以降も当企画展を開催する予定です。これまでに得たノウハウを活かしながら、さらなる日本の地方の魅力発信に尽力してまいります。